

[通常機体] ア / カ M 「SEED FRAME ASTRAYS」

ガンダムアストレイ グリーンフレーム

機体名	ガンダムアストレイ グリーンフレーム	画像
型式番号	MBF-P04	
英語名	GUNDAM ASTRAY GREEN FRAME	
所属	ゲリラ	
パイロット	トロヤ・ノワレバリー・ホー	
装甲材質		
装備	イーグルシュテルンビームサーベルシールドツインソードライフルビームライフル	
作品名	機動戦士ガンダム SEED FRAME ASTRAYS	
参考書籍	HG <u>ガンダムアストレイ グリーンフレーム</u>	

内容

オーブ連合首長国のコロニー、ヘリオポリスにおいて開発された自国防衛用 MS のプロト機。

開発に当たって、連合の GAT-X シリーズの技術が使用されている。

最終的に本機で得られたデータを元に本国で MBF-M1 M1 アストレイが完成している。

ヘリオポリスのプロト機は予備パーツまで入れて 5 機分が製作されたが、完成直後にヘリオポリスがザフトの襲撃を受け崩壊、5 機はちりぢりになり、すべてが違った運命を辿ることになった。

グリーンフレームは、パーツ状態でヘリオポリスの残骸の中に埋もれていたものを発見され、オーブの軌道ステーション「アメノミハシラ」において修復されたものだ。

修復を担当したのは、自らもアストレイレッドフレームの所有者であるジャンク屋のロウ・ギュール。

彼は、グリーンフレームに擬似人格コンピュータベースの AI を搭載した。

この AI は、戦闘状況を分析し、完全な回避行動を可能とする。

システムを最大限に発揮するため、グリーンフレームはセンサー系も強化されている。

備考

スペック

項目	内容
全高	17.53m
頭頂高	
全長	
重量	49.8t
全備重量	
ジェネレーター出力	

スラスタ-推力	
センサ有効半径	